

展示替一覧表

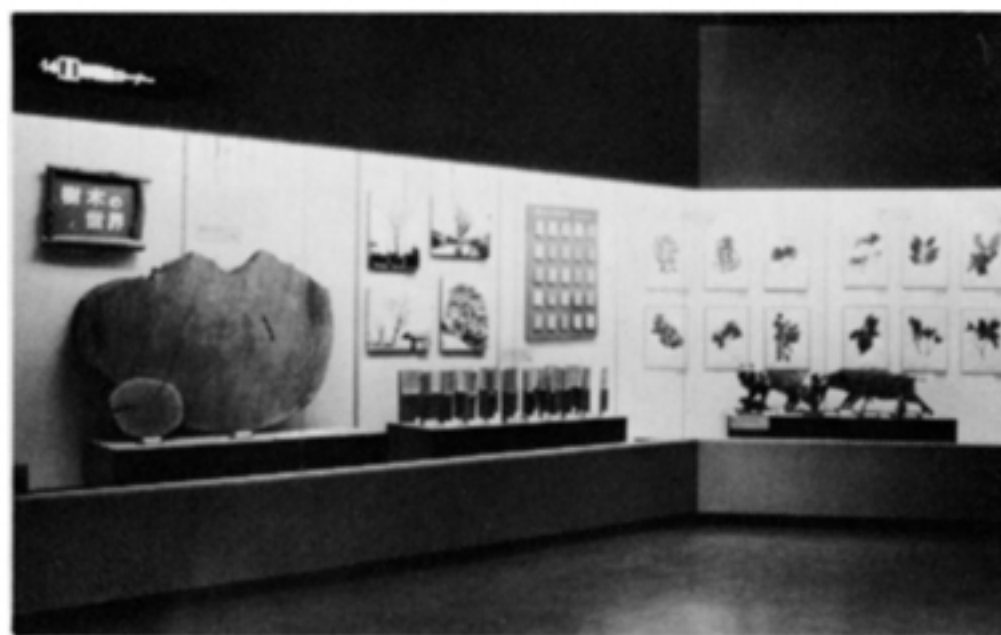
回	期 間	テ ー マ	展 示 資 料	点数
第22回	53年 4・4～ 5・30	平塚海軍火薬廠	文書、写真、制服、絵	53
第23回	6・1～ 7・30	樹木の世界	木材標本、腊葉標本、鳥獣剥製、木の民具	85
第24回	8・1～ 9・29	平塚市上ノ入A・ 王子台・赤坂遺跡展	上ノ入A・王子台・赤坂遺跡出土品、実測 図、樹木標本	181
第25回	10・1～ 10・20		真垣武勝油彩画（各60号）	4
	10・21～ 11・10		井上三綱油彩画（各60号）	4
	11・11～ 11・29		土井俊泰油彩画・大貫達雄水彩画（各100号）	3
第26回	12・1～ 1・30	レンズ のできるまで	光学レンズの原料、ルツボ、レンズガラス レンズガラス塊、研磨レンズ、凹凸レンズ	87
第27回	54年 2・1～ 3・30	平塚市内出土の 弥生土器	王子台・赤坂・上ノ入A・B遺跡出土の弥生土 器と寄贈された土器	21
第28回	4・2～ 5・30	化石のいろいろ	現生の貝、第四紀の貝化石、中生代の軟体動 物・哺乳動物化石、魚化石、植物化石等	202

(1) 寄贈品コーナー

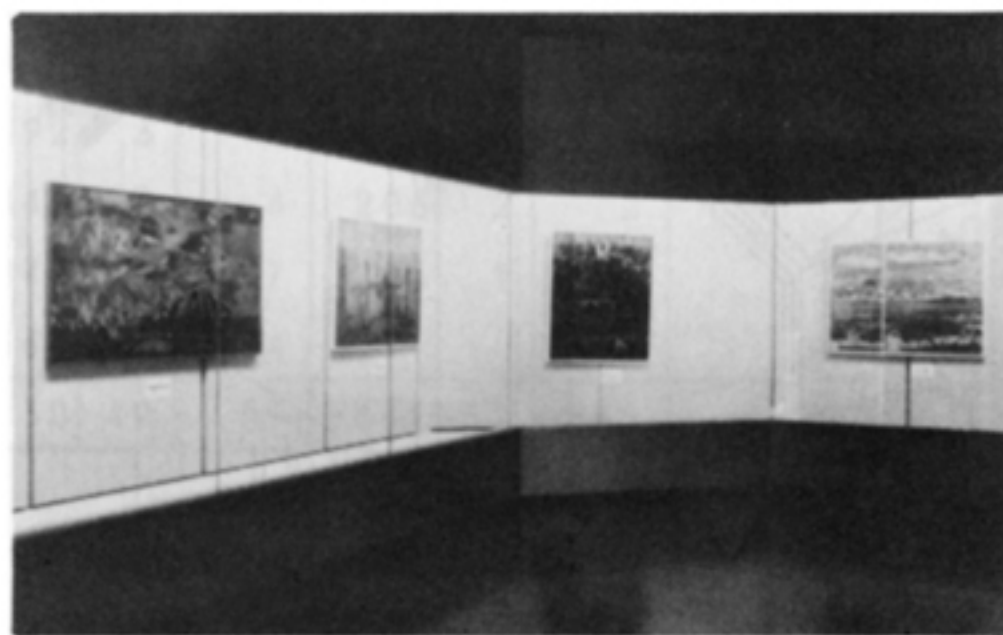
開館以後一人担当制で毎月展示替を行ってきたが、53年度は各部門が輪番で担当し、展示期間を2カ月間とした。これにともなって従来の展示をさらに充実させるため、各回ごとに展示テーマを設け、資料紹介的な展示からテーマ展示と内容をかえた。展示資料を寄贈資料に限定せず、館蔵資料によった。展示解説のリーフレットを作成して配布したり、写真・解説パネルを作成したりし、充実した内容にすることができた。

展示テーマ、展示資料の概略は下表のようになる。テーマは各学芸員の調査研究の中から設定され、成果の一部公開あるいは中間発表として行っており、将来的にはこれらを特別展へと発展させることも可能である。

展示ケースの使用は従来通り、ケース内を二分あるいは三分し、それぞれにサブテーマを持たせて関連資料を展示した。



第23回「樹木の世界」



第25回展示